



宇久っ子

学校だより

令和6年6月14日

文責 岩谷 豪

【校訓】和して学び 自立して歩む

【教育理念】笑顔 あふれる 学校

【教育目標】ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる児童の育成



6月は「いのちかがやく強調月間」

6月は、学校開放週間や授業参観、様々な活動を通して、学校・家庭・地域と一緒にいのちについて考えます。

6月1日は「いのちを見つめる日」でした。今年は土曜日だったので、5月31日に校長講話を行いました。その中でいのちの大切さについて3つのことを伝えました。

- ① 私たちのいのちは世の中にたった一つしかないこと
- ② 一度失ったいのちは二度とよみがえらないこと
- ③ いのちの大切さは自分も周りにもいるみんなも同じであること

そして最後に「自分のいのちを大切にしながら一生懸命生き、人への思いやりを忘れない人になってほしい。笑顔が輝き、いのちが輝く宇久小学校をみんなで作っていきましょう」と締めくくりました。

いのちかがやく強調月間中の小学校での活動の様子をお伝えします。

～読み語りスタート～

6月から月曜日の朝の活動の時間に読み語りボランティアの皆さんによる読み語りが始まりました。低・中・高の順に毎週それぞれの学年に合った内容を選んでいただき、楽しい時間となっています。本を読んでもらっている時の子供たちのまなざしからもすてきな時間であることが伝わってきます。



～たくさんお芋ができてほしいな～

6月7日（金）、地域の方のご協力で全校でいもさし体験を行いました。ジャンボタクシーに乗って畑まで移動し、体験させていただきました。学校でも1,2年生が野菜、3,4年生がツルレイシやヒマワリなどを育てています。栽培活動を行うことで、命を育むことの難しさ、収穫の喜びを感じてほしいです。



～芸術鑑賞体験教室～

6月11日(火)、5, 6年生がアルカスSASEBOで行われた芸術鑑賞体験教室に参加してきました。当日は佐世保市内の5年生の半数が会場に入り、九州交響楽団の本物のオーケストラを鑑賞することができました。学校で学習した曲がほとんどで、様々な楽器が奏でる音色や楽器の音色の重なりを肌で感じました。また、参加者全員による「さんぼ」の合唱や手拍子など宇久小学校では味わえない貴重な体験をすることができました。

また、午前中は佐世保市立図書館で本を借りたり読んだりし、その後はメリッタ・キッズで思いっきり遊びました。9月の修学旅行に向けて集団行動の大切さを学ぶことができた絶好の機会でした。



～小中高合同海岸清掃～

6月13日(木)、小中高合同海岸清掃を行いました。保護者や地域の方々など50名を超えるボランティアの皆さまにも参加していただきました。

私たちが出したごみではないけど、私たちが生活する宇久島の美しい海岸にたくさんのごみが流れつき、汚れてしまっていることを子供たちは実感し、きれいにしたいという思いをもったことと思います。

初めはたくさんあったごみも最後にはなくなり、きれいな海岸に戻すことができました。ご協力いただいた保護者の皆さま、地域の皆さまありがとうございました。



～引き渡し訓練～

6月13日(木)、大雨で子供だけでの下校が困難な状況を想定した引き渡し訓練を行いました。車から降りずに済むドライブスルー方式で、子供を引き渡すことができるように、コミュニティセンター入口で実施しました。コミュニティセンターのご協力もあり、スムーズな引き渡しができました。

子供たちの安全を守るためにはまだまだ改善の必要性を感じています。反省をもとに本当に大雨時の対応が必要になったときに活かしていきます。お迎えありがとうございました。

来週(6/17～6/21)は学校開放週間です。20日の午後から授業参観と懇談会があります。また、交通安全・あいさつ運動のご協力もよろしくお願いいたします。